

g-unit 萩原剛 + 平瀬有人 + 佐野哲史
k-unit 保坂猛 + 稲垣淳哉 + 山下大輔

TA：安宅祐介・関音葉

■第 2 課題

『UNE PETITE MAISON gallery & archives』

■課題内容

ル・コルビュジエの初期の作品である両親のための住宅「小さな家（UNE PETITE MAISON／1923）」は、思い描いていた設計をもとに建設に適した立地を探したと言われている。「小さな家」はスイス南西部のコルソー（Corseaux）地方に位置し、フランスとの国境に跨るレマン湖の湖岸に建つ。敷地は北側に幅 16.75m・奥行 4.5m でほぼ東西軸に長い矩形の平面である。建物の南面は風景と日光を取り入れるための 11m の横長窓があり、レマンと対岸のアルプスの景色を望むことができる。部屋の配置は寝室・居間などのスペースが緩やかにつながり、約 60㎡にコンパクトに計画された平面となっている。
本課題は、「小さな家」の周辺を敷地とし、「小さな家」ヤル・コルビュジエ作品に関するギャラリー&アーカイブスを設計するものである。必要に応じて一部「小さな家」を改修・増築し、敷地は道路を挟んだ対岸に設定しても良い。「小さな家」を創意的に解釈し、地形や自然環境とともに自然と建築の関係性を各自見出して提案すること。名作住宅「小さな家」との新たな出会いを生む、鮮やかな体験を設計してほしい。

- 設計ポイント・キーワード
1. 地勢と眺望
Terrain and Vista

敷地周辺の起伏を総合的な〈地勢〉として意識し、設計にその特性を反映させること。湖沿いにあることから、敷地及び建物内外からの視線の在り方や豊かな湖への眺望について意識すること。
2. ギャラリー&アーカイブス
Gallery & Archives

現在「小さな家」はル・コルビュジエ財団が管理・限定公開しているが、「小さな家」ヤル・コルビュジエ作品に関する展示物（図面・スケッチなど）に加え、書籍や研究者の成果を収蔵・展示するに相応しい空間をデザインすること。併設するアーカイブス（ライブラリー）・カフェは地域に開かれた空間とする（現在パリのル・コルビュジエ財団に集約されている資料の一部をこちらに移設するという設定）。
3. ピクチャーウインドウ
Picture Window

「どこからも見え、どこにでも顔を出す風景にはそのうち飽きてしまう・・・風景の前には壁を立て、ここぞという場所のみを切り取るのです」（ル・コルビュジエ）。庭の扉に穿たれた長方形の穴からは湖を取り込み、南面に横長窓のある建築はそれ自体が風景のための近代的な仕掛けである。
4. フレーム
Frame

芸術の最初の所作を〈フレーム〉の構築や組み立てとして理解する（哲学者ジル・ドゥルーズ）。あらゆる芸術においてもっとも始原的で動物的なものである建築は、そのもっとも基本的な点においては、〈フレーム〉をデザインし構築することとほとんど変わらない（哲学者エリザベス・グロス）。私たちは窓を通じて見たもの、〈フレーム〉のなかに見たもの、スクリーン上で見たもの、によって世界を知る（映像メディア研究者アン・フリードバーグ）。
5. 新しい建築の5つの要点
The 5 points
of a new architecture

東端部のピロティのような大きい軒下空間、緑化された屋上庭園、回遊性のあるプラン、幅 11m の横長窓、構造的な制限を受けないファサードなど、のちにル・コルビュジエが提唱する〈新しい建築の 5 つの要点（Les 5 points d'une architecture nouvelle）〉における萌芽の要素が見て取ることができる。

■計画条件

1. 〔敷地〕
- 「小さな家」敷地とその周辺（敷地は道路を挟んだ対岸に設定しても良い）
Villa "Le Lac" Route de Lavaux 21 CH-1802 Corseaux, Switzerland
2. 〔用途〕
- 資料を収蔵・公開する展示ギャラリー・アーカイブス
3. 〔規模〕
- 延床面積：300 ～ 400㎡程度、階数自由（参考：「小さな家」約 60㎡）
4. 〔構造〕
- RC 造、S 造、木造、混構造など自由
5. 〔施設構成〕
- 計 画 面 積
- | | |
|----------------|--|
| ギャラリー | 約 100-200㎡：各自展示内容を検討すること。収蔵スペースを確保しても良い。 |
| アーカイブス（ライブラリー） | 約 100㎡：保存される図面や図書が配架されたライブラリーを計画すること。 |
| カフェ | 約 50㎡：厨房も含めて計画すること。 |
| 管理ゾーン | 約 50㎡：事務室 + 給湯室、機械・設備スペース |
| 合 計 | 約 300 ～ 400㎡ |

- 提出図面
1. 配置図 S=1/100 or 1/200 2. 各階平面図 S=1/100 3. 立面図（4 面）S=1/100
4. 断面図 S=1/100 5. 内観・外観パースおよび模型写真
6. 設計意図・コンセプトを示したダイヤグラム
7. その他、各人の設計意図を表現するために、図面やドローイング、模型などを適宜選択すること。

■フォーマット

A1 縦使い、図面は 6 枚以上、表紙に課題タイトル・氏名・学籍番号を明記すること。

■提出期限

7/14（金）18:00-19:00 芸術学校事務所まで。当日採点を行う。20:30 ～図面返却予定。

- スケジュール
- 6/9（金）

・・・・・・ガイダンス、課題出題、課題関連レクチャー

6/16（金）

・・・・・・敷地分析・敷地+既存建築模型プレゼン、配置スタディ

6/23（金）

・・・・・・平面・断面スタディ、1/100 基本図チェック（A1／1 ～ 2 枚）

6/30（金）

・・・・・・Unit 別中間発表（A1／1 ～ 2 枚）計画概要、配置図、平面図、断面図、スタディ模型

7/7（金）

・・・・・・平面・断面・外観・内観スタディ、図面・模型表現指導、プレゼン表現指導

7/14（金）

・・・・・・提出・採点

7/21（金）

・・・・・・講評会